

## 【 臨床研究に関する情報の公開 】

糖尿病で当院を受診された患者さまの試料・情報を用いた医学系研究に対する  
ご協力のお願ひについて

項 目	内 容
1. 研究課題名	糖尿病患者における治療内容の長期有効性・安全性の検討
2. 研究の対象者	2006年4月以降、当院で糖尿病治療を受けている患者のうち、定期的な血液検査を受けている患者。
3. 研究期間	令和3年 9月 24日 ～ 令和 6年 3月 31日
4. 研究実施体制と研究責任者	研究実施箇所：関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 研究責任医師：糖尿病・内分泌代謝センター部長 浜本 芳之
5. 本研究の意義・目的	糖尿病加療継続におけるHbA1cなどの血糖コントロールの指標やインスリン分泌能などの臨床検査データと体重や体液量（体脂肪率や筋肉量など）、糖尿病細小血管障害・大血管障害・併存疾患の変化について、治療内容による影響を検討し、長期的な治療効果・安全性について検証する。
6. 研究の方法	当院のカルテデータを用いて、治療内容と臨床検査データ及び体重、体液量、合併症などの関係性について後ろ向きに統計学的データベース解析を行う。
7. 研究に用いる試料・情報の種類	臨床検査データ（血算、血糖、HbA1c、GAD抗体、ケトン体、乳酸、ピルビン酸、遊離脂肪酸、グリコアルブミン、インスリン、Cペプチド、AST、ALT、 $\gamma$ GTP、アミラーゼ、リパーゼ、コレステロール、膵グルカゴン、Na、K、Cl、Ca、P、Mg、TSH、FT3、FT4、CRP、高感度CRP、Cre、BUN、尿酸、ビタミンB12、25(OH)ビタミンD、ヒアルロン酸、IV型コラーゲン7S、P-III-P、尿沈渣、尿定性、尿中アルブミン、蓄尿検査）、画像診断データ（CT、MRI、腹部エコー、頸動脈エコー）、体重、体液量、血圧、ABIなど臨床学的指標、眼底検査、併存疾患、薬剤・栄養指導を含めた治療内容
8. 試料・情報の保管方法と廃棄方法	情報管理担当者が研究用パソコン内にデータとして保管し、施錠可能なデスクにおいて保管管理する。 廃棄については、研究発表後、5年間保管し、データ廃棄の際は、複数名で完全にデータを消去したことを確認する。
9. 個人情報の保護について	情報収集には、診療IDや患者識別コード等を用いることで匿名化されています。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者へ知られたりすることはありません。 研究にご自身の臨床データや試料を提供したくない場合は、11. 問い合わせ・苦情等の窓口へお申し出ください。お申し出いただいても、診療等に不利益が生じることはありません。
10. 情報管理責任者	関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 原口卓也
11. 問い合わせ・苦情等の窓口	〒553-0003 大阪市福島区福島2丁目1番7号 関西電力病院 糖尿病・内分泌代謝センター 原口卓也 電話：06-6458-5821（代表）